

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら 庚午教室		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 10日（配布日） ～ 2025年 12月 10日（最終集計日）		
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	53（回答者数）	36
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日 ～ 2025年 12月 17日		
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	16（回答者数）	16
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	色々な経験を通してお子さまの「好き！」を見つけること。	プランターでの畑体験や木工家具作りなど事業所で出来ることはもちろん、外出プログラムも色々な場所で様々な体験を通してそれぞれの「好き！」を見つけていただけたら嬉しいです。	今年度も島根県のアクアスへ広島市の福祉バスをご利用させていただき行ってまいりましたが今後も地域資源を有効活用させていただきながらドキドキワクワクを提供してまいります。
2	集団生活から自然な言語の発達、社会性を育てていけること。	児童発達支援では保育園と同じように自由時間も意識的に多く取り入れております。そこで好きなものを通して玩具の共有の仕方やコミュニケーションを職員と一緒に考え、実践して社会性を育てています。 放課後等デイサービスでも集団プログラムをメインに部分参加でも小集団から少しずつ取り組めるよう支援しています。	講義や体験といったSSTからの実践、振り返りといった1日を通して行う活動も行ってみたいと思っております。
3	児童発達支援から放課後等デイサービスへ環境を変えずに移行できること。	就学にあたり環境の変化が激しく、適応できるまで時間を要するお子さまが多い中、こばんはうすさくら庚午教室では環境をほとんど変えずに安心できる場所としてご利用いただけるようになっております。スタッフもほとんどは児童発達支援、放課後等デイサービスを兼任しているため見慣れたスタッフと安心して過ごすことが出来ます。	今までと同様、新1年生には周りの急激な環境の変化への適応状況に応じて安心して過ごすことの出来る場を提供していきたいと思っております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全体での研修やミーティングの機会がなかなか得られないこと。	児童発達支援、放課後等デイサービスと2単位で運営しており、週7日開所させていただいているため全体参加での研修やミーティングの機会が無い。	全体での開催は難しいものの参加できなかったスタッフにも研修内容、会議内容を細かく共有できるよう既存の議事録だけでなく、2部開催など検討していきたいと思っております。
2	児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行が難しい場合があること。	お子さま、ご家族様から放課後等デイサービスへの継続的なご利用を希望いただいているのに対し、学校へのお迎えの多くが下校時間が同時時間帯のため、お迎え可能な小学校の数に限りがあり難しいことがある。	積極的に職員の募集を行っている。また、放課後等デイサービスへの移行が難しい場合にはなるべく早くご家族様へご連絡。ご希望に応じて他事業所様と連携し就学以降も通える事業所と一緒に探させていただいております。
3			